

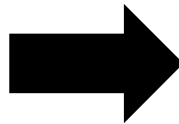
第9次中期目標の概要

先進的なGX産業エリアの形成を目指して

【令和5年度～令和7年度】

苦東開発の位置づけ

- 広大で平坦な土地
- 陸・海・空の優れた交通アクセス
- 冷涼・少雪な気象条件
- 豊かな自然環境
- 欧州、北米、アジアとの物流における地理的優位性



- 産業開発や研究活動の拠点形成
- 地域経済の活性化
- 循環型社会の形成
- 脱炭素社会の実現
- 経済・社会の発展・安定

目標の設定

苦東地域の開発を推進するため、2050年脱炭素社会の実現に向けて先進的なGX産業エリアの形成を目指した事業展開と用地分譲等の推進、積極的な基盤整備、継続した株主還元の実施を図るべく中期目標を設定

目標実現の具体的方策

I 時代のニーズに対応した用地分譲等の推進【目標40ha】

- 一般分譲の誘致活動推進
 - ▶ GX戦略推進室の新設
 - ▶ 製造業のほか、GX産業、物流関連産業、食関連産業、リサイクル関連産業の誘致促進
- プロジェクト分譲の誘致活動推進（実証研究施設等を含む）
 - ▶ コーポレートPPA事業、風力関連産業、水素・アンモニア関連事業、半導体・データセンター、ドローン・自動走行関連事業、CCUS事業、地域マイクログリッド事業のプロジェクト誘致
- 情報収集・情報発信の強化
 - ▶ 関係機関との連携強化、各種展示会等の活用、カーボンニュートラル調査等の活用

II 積極的な基盤整備等

- 将来の企業立地に備えた計画的な基盤整備・用地造成の実施
 - ▶ 大規模分譲用地、リサイクル関連用地
- 上下水道等社有インフラ施設の適切な維持管理
 - ▶ 上水道施設の増強、下水道施設の維持管理等
- 苦東埠頭の社会的ニーズに応じた運用と維持管理
 - ▶ カーボンニュートラル対応の利活用、岸壁施設の維持管理

III 自然環境との共生と活用の推進

- 森林資源の利活用
 - ▶ 森林資源量調査に基づく利活用、GX関連事業の検討
- 安平川河道内調整地事業への協力

IV 経営基盤の強化と株主還元の継続

- 基盤整備対応および苦東埠頭等社有施設災害対応の資金確保、未利用地の有効活用、株主還元の継続実施
- 将来を見据えた人材確保と人材育成、DXの推進、BCPサイクルの実行